

民報 ゆうばり

ロシアはウクライナ侵略をやめよ!

特集：除排雪に励む人たちと交通網・施設の様子紹介

大雪に負けじ 除排雪ゆき届く夕張へ

今年には豪雪にあい、毎日を排雪に苦勞して過ごした方が多かったと思います。札幌などでは除排雪がゆき届かず生活に支障をきたしているニュースが報道されています。

夕張の基幹道路・生活道路を回ってみると除排雪がいていかにされています。重機操縦者や作業従事者に頭が下がります。

今回は特集としてルポ風にお伝えします。(編集局)

【一本町梅街通り】十字街に入ると商店の壁に過去の映画ポスターが見られる。道路はていねいに排雪されています。



【清水沢墓園三叉路手前】

3名の除雪隊員がジョンバで排雪作業。「何時からお仕事ですか?」「1時半から。」との答え。

【鹿ノ谷排雪置場】重機が高く積み上げた雪山。各地にはこのような雪山が多く見られます。



【ゆうばり丘の上子ども園】きれいに除雪され、た道を登っていくと、立派な建物が建っている。



【ゆうばり小学校】道路標識の進入一通行が明示され、く道路管理されている。



【消火栓の管理】各地には消火栓が設置され、いつでも使えるように除雪に気を配っているのがわかります。



ウクライナ侵略やめよ! ロシア領事館へ抗議文

南空知憲法共同セクター(細野悦子共同代表)は、この度のロシア軍のウクライナ侵略に抗議し、ロシア日本領事館と北海道領事館へ「ロシア軍は、ただちにウクライナ侵略をやめよ」との抗議文書を送付しました。

「プーチン大統領は、核の先制使用を公言し、核兵器を使用するとの事実上の威嚇を行って...」との文言を文書にして、28日(月)に抗議文書を両領事館大使に於てた抗議文書を送付しました。

また、南空知憲法共同セクターで「緊急の街頭宣伝行動」を提起し、4日の岩見沢をはじめ、美



※(上部は青色で空、下部は金色で小麦を表すウクライナの国旗)



松橋ちはる かけある記
党道委員会国政相談室長

憲法が生きる政治へ

釧路市、厚岸町、別海町へ紙智子参院議員とともに調査に行きました。初日、別海、厚岸、浜中3町にまたがる陸上自衛隊矢臼別演習場に囲まれた場所にある「矢臼別平和資料館」と故・川瀬汎二さんが守り抜き活動拠点にしていた「D型ハウス」を訪れました。

矢臼別平和委員会事務局長の中村忠士別海町議が案内し、資料館を「育てる会」佐々木孝雄会長と吉野宣和平和委員会元会長が、反戦平和の闘争の歴史を説明してくれました。矢臼別に暮らす浦舟三郎さんも来てくださいました。

D型ハウスには川瀬さんが自ら書かれた憲法の条文が今も輝いています。ハウスの中で薪ストーブを囲んで懇談し、川瀬さんが多くの仲間と守ってきた憲法を次の世代にどう引き継ぐかが使命であり、壊すものが現れたら闘うと話していたことを知りました。「普通の暮らしがしたいだけ、私はここに居たいのです」という川瀬さんの人柄が伝わる優しい言葉を聞き、自然と涙が出てきました。

昨年、オスブレイが参加する日米合同演習が強行された矢臼別。手扳根で開かれた土地で監視活動が毎日行われ、ここには憲法9条が生き続けていると実感しました。「戦争放棄を誓った憲法9条を決して変えてはいけない」との想いをさらに強くしました。

参院選で日本共産党が勝利し、憲法改悪を断念させましょう！



くずさんの 夕張歴史散歩(174)

石炭博物館模擬坑の火災 (番外編⑨)

夕張駅の独特の位置

普通は駅を中心に街づくりが広がっていきます。そこに人・モノが集まり、そして文化が発展するのです。

しかし、夕張駅は違っていました。最初の駅舎の場所は北炭の会社用地の中で、もっぱら石炭の積み出しのために建てられています。私有地は、現在の本町一丁目の栄団地あたりからで、その境界には関所のように会社労務係の見張り所がありました。今の市立診療所は北炭用地内だったのです。

関係者立ち入り禁止の会社用地内ですから、駅を中心の街づくりは論外でした。

夕張独特の位置取りだったのです。

初代の駅舎

北炭が石炭を掘り始めますが、野積み山でした。そこで急遽鉄道の敷設が始まります。1892年(明治25年)ようやく石炭貨車が発車します。

その最初の夕張駅舎は、旧室蘭駅を模したと言はれ、屋根に出窓のある由緒深いものでした。その後、何度か改築されますが、万字道路の改変の際に石積みのプラットホーム毎、姿を消してしまいました。

この夕張駅舎の歴史には、何千万トンもの石炭を運び出し、日本の経済の牽引車となり、何千万人もの人々の泣き笑いがありました。

かつて歌手の奥村チヨさんが「終着駅」を歌いました。

「落ち葉舞い散る停車場は・・・」と。これは、夕張駅をイメージして千家和哉さんが作詞したと言はれます。

そのプラットホームには、災害で恨みを残して立った遺族はどれだけ居ただろうか。



旧 夕張 駅



紙智子「国会かけある記」
参議院議員

紙智子

ロシアはウクライナから即時、撤退せよ

予算委員会の質疑の準備のため北海道へ向かいましたが、急速に発達した低気圧でまたもや日本列島が大雪に。何とか飛行機に乗り、千歳空港に着くとJRはストップ。バスで移動し翌日22日、空知管内で調査を行う事ができました。

水田活用交付金の見直しが大問題になっています。米から畑作へ転作率80%、50%という地域で、農家の実情や不安などを、お聞きしました。30代の大規模農家の担い手の男性は、父から経営を引き継いで4年目。70畝という大規模な畑作に取り組んできました。

麦、大豆を多く作付けしており、今回の交付金が対象から外されれば、約2000万円の収入が無くなる。これから頑張っていくところなのに夢も希望も奪う話になっている。子どもは小さいが胸を張って「農業っていいんだぞ、楽しいんだぞ、こんないい職業ないんだぞって言いたいのに。農業を継いでくれている世の中じゃなくなってしまう」と。

この思いをストレートに国会に届けたいと思いつながら東京に戻ると、何と云うことか！ロシアがウクライナに侵略したとのニュースが飛びこんできました。首都のキエフなどで銃撃戦が始まり、幼い子どもを含めた市民の犠牲が出ています。避難のため国境を越える人々の流れ。24日、新宿駅で、ロシアのウクライナへの侵略に抗議と中止を求める緊急街頭宣伝に参加し、直ちに侵略を中止し、撤退せよと訴えました。